

石川県立自然史資料館の令和2年度管理状況

様式2

施設所管課	教育委員会生涯学習課
施設管理者	特定非営利活動法人 石川県自然史センター 理事長 高木 政喜
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日
中期経営目標 (H29～R3)	①入館者数を5年間で7,000人に増加させます。 ②出前講座、野外活動等の館外事業を積極的に実施することにより、館外事業の参加者数を5年間で1,300人に増加させます。 ③利用者アンケートによる満足度は、引き続き95%以上を維持します。

1 中期経営目標達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組

(1) 実績

項目	実施内容
① サービス向上・利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・普及講座「花の色の秘密をしらべよう」や自然史講演会「生きものの名前のおはなし」などを、計21回実施しました。(参加人数160人) ・企画展「いしかわのレッドデータ植物」「いしかわの生物多様性とレッドデータブック」「石川の地史を語る標本たち」を開催しました。(参加人数1,957人) ・夏休み特別企画「すごいじー！夏休みの自然史資料館」を新たに開催しました。(参加人数636人) ・特別企画「オープンミュージアム」で、新たにオンラインによるワークショップを2回開催しました。(参加人数119人)。 ・オンラインと対面の併用による交流討論会を3回実施しました。(参加人数112人) ア. リレートーク「第1回能登最後のトキ『能里』をめぐる語りあい」 イ. 「いしかわレッドデータブック2020～ふりかえりと2030に向けた意見交換会」 ウ. シンポジウム「いしかわレッドデータブック2020を読み解く」
② 広報活動	<ul style="list-style-type: none"> ・講座・イベント・企画展等の広報をするため、リーフレットやニュースレターを公共施設等に配付するだけでなく、ホームページやメールマガジン等オンラインによる広報を実施しました。 ・資料館をピーアールするため、問題提起型のワークショップや企画展を実施しました。

(2) 令和3年度における取組内容の見直し等

実施内容
①利用促進・拡大のため特別企画を充実させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで作る自然史資料館「オープンミュージアム」：2つのコンセプト「生物多様性」と「地域の博物館づくり」を明確にしたワークショップを開催する。 ・夏休み特別企画「すごいじー！夏休みの自然史資料館」：オンライン企画を新規に実施する。 ②石川県との連携・協力をすすめる。 <ul style="list-style-type: none"> ・石川県生活環境部温暖化・里山対策室開催の「いしかわグリーンウェイブに参加しよう！」に新たにイベント開催協力する。

2 中期経営目標の進捗状況

測定指標	H27年度 (基準値)	H30年度	R1年度	R2年度	前年度比	基準値比	R3年度 (目標値)
(1) 利用者数 (人)	5,022人	5,560人	6,481人	2,920人	45.1%	58.1%	7,000人
(2) 館外事業参加者数 (人)	1,218人	2,229人	2,937人	979人	33.3%	80.4%	1,300人
(3) 利用者アンケート における満足度							
利用者サービス (%)	100.0	98.2	100.0	97.1	-2.90ポイント	-2.90ポイント	95.0
施設の維持管理 (%)	98.0	98.6	97.7	100.0	2.30ポイント	2.0ポイント	95.0

※基準値は中期経営目標における基準値

<利用者数、貸館稼働率など利用指標に係る増減理由>

指標	対前年度増減理由	対基準値増減理由
利用者数	今年度はコロナウイルス感染予防対策措置として、休館期間が生じた影響等があり、利用者数が激減した。再開後もイベント・講座の制限や団体利用の減少が大きく影響し、利用者数が激減した。	同左
館外事業参加者数	「いしかわの里山里海展」等の館外展示の実施などの館外事業がほとんど中止となり、実施できなかった。出前講座等の申込数や参加者も激減した。	同左

<利用者アンケート結果> (通年実施(4月11日～7月10日の期間は臨時休館等のため実施せず)
(有効回答数 利用者サービス34件、施設の維持管理38件)

項目	回答			
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い
利用者サービス (%)	76.5	20.6	0.0	2.9
施設の維持管理 (%)	71.1	28.9	0.0	0.0

3 施設等の維持管理

項目	実施内容
(1) 清掃	日常清掃:年180日 ワックス清掃:年2回 硝子清掃:年2回 受水槽清掃:年1回 廃棄物収集(プラ:月2回 金属:月1回 可燃物:週2回 不燃物:月1回)
(2) 設備保守点検	自家用電気工作物:月次点検月1回/年次点検年1回 昇降機保守点検:月1回 消防用設備機能点検:年1回/総合点検年1回 空調保守点検:年1回
(3) 植栽維持管理	除草作業:年2回
(4) 警備	機械警備(年中) 警備上必要な機器の管理
(5) 小規模修繕	公用車クーラー・コンプレッサー他修理 研究収蔵棟階段外部壁面防水シール打ち換え 工事 職員用駐車場 側溝蓋入替工事・車止めブロック取替工事 1F会議室・2F研修室 エアコン取替工事 研修室机側面修繕 来館者用駐車場案内看板修繕

4 管理運営体制

項目	実施内容
(1) 緊急時の対応・安全管理などの危機管理	・危機管理マニュアルの策定 ・消防訓練の実施（年2回実施）
(2) 個人情報の管理状況	基本協定に基づき適正に管理

5 収支状況

(1) 使用許可等の状況

（単位：件）

項目	許可件数	不許可件数	不許可理由
該当なし			
合計	0	0	

(2) 使用料の収入実績（利用料金の収入及び減免の状況）

（単位：千円）

項目	収入額	減免額	減免理由
該当なし			
合計	0	0	

(3) 収支決算

（単位：千円）

収入		支出	
指定管理料	43,654	人件費	24,082
利用料収入		光熱水費	5,799
その他		修繕費	1,012
		その他	12,667
合計 ①	43,654	合計 ②	43,560
収支差額 ①－②	94		

6 利用者からの意見、苦情、要望

年 月	内 容	対 応
令和2年10月	(1) 駐車場案内が欲しい。 (2) 常設展示室の地図で展示物の産地を示してほしい。	駐車場の案内看板の増設および常設展示のサイン増設を検討する。
令和2年12月	常設展示の音声ボタン押せなかったので残念。職員に対応してほしい。	消毒液配備等の対策を行い、音声展示を再開する予定である。その他展示についても内容等の工夫に努める。
令和2年12月	動物（昆虫以外）の標本作製など（の講座）もあるといい。	幅広い分野の講座開設を検討したい。
令和3年1月	企画展は標本が並んでいるだけで、観察のポイントがわからない。展示全体のテーマがはっきりせず、文章も教科書の丸写しのようなものばかりで、お客さんに楽しさを伝えようという心が全く感じられない。	利用者に満足いただけるよう、企画展の内容および展示の工夫に努めたい。
令和3年3月	企画展はテーマが伝わりにくく、資料館の貢献がみえにくい。展示パネルの説明がワンパターンだった。工夫がほしい。	同上

7 事故、故障等

年 月	内 容	対 応
該当なし		

8 その他報告事項など

--

9 評価結果

評価項目	評価	所見（工夫・改善点）
(1) 中期経営目標の達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組	B	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で利用者が激減する中であっても、利用促進のため、非来館型サービスとしてオンラインによるワークショップを実施している。 ・ホームページの積極的活用やYouTubeチャンネル開設検討等、広報活動の工夫を行っている。 ・利用者の満足度は高水準を維持している。
(2) 施設等の維持管理	B	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内は清潔に保たれているほか、修繕等については、利用者の安全や利便性を考え、迅速に対応するなど適切に管理が行われている。
(3) 管理運営体制	B	<ul style="list-style-type: none"> ・非常時の連絡体制やマニュアルが定められ、安全対策が講じられている。 ・個人情報については職員に周知徹底が図られており適切な情報管理が行われている。
総合評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ・仕様書等に基づき適切な管理運営が為されており、今後も適切な管理とさらなる利用促進に向けた取組を期待する。

○ 評価基準

- A（優）：仕様書等に定める水準を大いに上回っており、その結果、優れた実績をあげている
- B（良）：仕様書等に定める水準を上回っている
- C（可）：概ね仕様書等に定める水準どおり実施されている
- D（不可）：仕様書等に定める水準を下回っており、改善を要する部分がある

○ 総合評価

- A（優）：優れた管理運営がなされており、かつ、十分な実績をあげている
- B（良）：優れた管理運営がなされている
- C（可）：適正な管理運営がなされている
- D（不可）：改善が必要である

10 助言・指摘事項